



20日(水)に、海洋教育部会兼みうら学・海洋教育研修会が行われました。話題提供は、三崎小学校佐藤美沙樹先生でした。佐藤先生は、「海洋教育は、各学校で、どのくらい行われているのか」「海洋教育を担っていくのは誰なのか?」「なぜ、海洋教育をするのか」「どのように進めていけばいいのか」の4点について、自分の体験をもとに、具体的なお話をしてくれました。

特に、「海を素材にした学習は、人間が生きていくうえで大切なことにつながる」「知ったことから、なぜ?が始まる。ずっと問い続ける子どもであってほしい。そういう意味で、海の学習は、まだまだ謎が多く、答えが絞られないことが多い。教材として適している」等のお話が印象に残りました。

続いて、各学校の取組の様子を情報交換しました。「コンブを使ったムラサキウニの飼育」、「三浦の海藻のおいしさを伝えよう」「海とつながっている森を調べる」「ライフセービング」「海のボランティア」など、海の生き物だけに特化せず、海洋教育をひろくとらえる動きも出てきていました。小学校との接続を意識した中学校の取組や、夏休みの宿題として、全校で、三浦や海について調べ、全教科で海洋教育を行う試みをしようとしている学校もありました。



すべての学校が意欲的に、海洋教育に取り組もうとしている姿勢が窺える会議となりました。話題提供をいただいた、佐藤先生、会議場所を用意していただいた三崎小学校の皆さん、ありがとうございました。



13日(水)に初声小学校で行った海藻おしば教室のアンケートより

- ・はがきに海藻を置いたら、あんなにきれいになるなんて思わなかったです
- ・海藻が、世界に1万種類もあることを、初めて知りました
- ・海藻が地球の温暖化を防いでいると聞いて驚きました
- ・光がないと、ワカメが育たないことにびっくりしました

- ・海があんなに汚れているなんて知りませんでした。もっときれいな海にしたいです
- ・海の生き物を助けるために、私にも何かできるのではないかと考えていきたい
- ・私は、海の森を守るために、海を汚さない、ということから始めようと思います。どうでしょうか?
- ・家に帰ったら、海藻のことを調べてみたいです
- ・この授業を受けてから、海藻を見る目が変わりました
- ・「海藻おしばづくり」をしてみて、前よりももっと、海が好きになりました
- ・もっともっと、海の勉強をして、海のことを知って、家族に教えてあげたいです
- ・今回の授業で、海が今までよりもっと好きになりました。海に関係することは何でも体験してみたいです
- ・とても楽しかったので、今度海に行って海藻を探してみたいです
- ・私は、海の森を守りたいと思います。あんなに貴重な海藻がなくなったらだめだと思っています。全力で家族に言ってみます



(文責 事務局長 渋谷)

海洋教育に関するお問い合わせは、みうら学・海洋教育研究所 854-9443 まで